



# 川から生まれたまちづくり



倉真を子供達に残すために (掛川市倉真)

## 宇刈川の源流をご存じですか? (袋井市)

川には源があるが、管理上は起点標識で始まる。宇刈川10.3キロは袋井市内大日付近から始まり、市街地で原野谷川に合流する川である。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

(袋井市 鈴木 敦子)



川には源があるが、管理上は起点標識で始まる。宇刈川10.3キロは袋井市内大日付近から始まり、市街地で原野谷川に合流する川である。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

私が初めてこの起点付近を見たのは今から17年ほど前で、この頃の起点付近は里山のこんもりとした山の裾からひとまたぎ出来る位のちよろちよろとした川が始まるのかな風景の中にあつた。起点標識の奥は藪の中の小さな水溜まりに見えた。久しぶりに宇刈川源流に出かけてみた。里山の風景は前と変わらなく見えたが、起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があつた。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋からは見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。

## 大日蝨の里 (袋井市大日)

宇刈川最上流部(川幅4メートル・流路1メートル・水深20センチ・1.5キロメートル)に自然発生の蝨が見られる。大日自治会内の白兎会という大日の未来を考える会の提唱で、20年前地域の親睦を深めるため、蝨観賞会を開いた。今では自治会・子供会・女性部...等の各種団体が協力して、焼きそば、菓子のつかみ取り等のイベントもしている。地区内では環境に関心が高まり、川の草刈りを年々回している。地区外からも蝨観賞に来る人たちが年々増えている。(袋井市 北島 金三)

蝨観賞会 (大日橋付近)  
5月20日～6月10日  
18時～21時 車規制あり



## いきいき 倉真マップ

アクションプランくらみ2012より



倉真が、がんばっていると感じてきました。掛川市北部の中山間地で、静かな倉真温泉があり、お茶・米づくりが中心の農村地域に1800人ほどが暮らしています。

昔から水に恵まれない土地柄で、地区の中央を流れる倉真川は大切な農業用水源であり、子供達の楽しい遊び場でした。

近代の生活の向上と共に世の変化の中で、中山間地域の倉真にも変化が現れました。子供達の減少、水質悪化、ホテル・魚などの生き物減少、街中への車の出入り、倉真川の堰設置による憩いと遊び場の消滅などがあります。2003年頃、倉真の人達は考えました、「将来の子供達に残す倉真は如何にあるべきか」を目標に、ぐらみまちづくりが生まれました。まず始めに取り組んだのが、地区全域に高性能浄化槽を設置することによる水質浄化であり、そしてゴミ式可動堰の1ヶ所を計画変更し、悪臭の解消と遊び場の確保、手づくりの川の景観づくりでありました。その結果、倉真川の水質は飛躍的に向上し、用水路にはタニシ・シジミ・七じょうなどが見られ、昨夏はホテルが乱舞するほどになりました。

この取り組みから活動分野は多岐にわたるテーマに広がっています。現在38部会約90名が、まちづくり委員会を運営して広く住民の意のもと独自に計画し、行政と協働で県道整備を進めており、いきいき倉真マップの中に緑の点線で囲ってあるのが8部会が取り組んでいる活動であります。

取材を通して感じたことは、地区の皆さんの強い情熱に驚かされました。

(袋井市 渡瀬 博)